

＝令和元年度竜王小学校だより＝

竜の子



令和2年1月31日

No. 32

校長 小尾 一彦

公開授業研究会を行いました！～プログラミング教育～

1月28日（火）、雪の心配もありましたが、予定通り公開授業研究会を開催しました。来年度から始まるプログラミング学習に関心も高く、県内各地から多くの先生方や教育関係者の皆様に参観していただきました。公開授業の様子は、28日のUTYの「ニュースの星」や29日の山日新聞でも取り上げられました。プログラミング学習は、どのように子どもたちが学ぶか、そのためにどのように指導すればよいかなど学校現場でも、まだまだ難しいところもありますが、本校の先進的な研究実践が、これからのプログラミング教育の先駆けになればと思っています。今回の公開を迎えるにあたって、先生方はそれぞれのブロックで日々話し合いや準備を進めてきました。このことが子どもたちの主体的・対話的で深い学びにつながるという確信を持った本校の教職員チームドラゴンの力を結集した公開授業研究会になったと思います。

アトラクション

4～6年生合唱。
「群青」「ケ・サウ」
の2曲を発表しました。220人の心を揺さぶる演奏に、感動の拍手をたくさんいただきました。



全体会

研究主任と主幹より、プログラミング教育の研究概要と本校のモジュールについて効果的な運用の説明を行いました。



公開授業：低学年

第2学年 国語科（2年1組教室）：授業者 今津 裕也 教諭

「お話のさくしゃになろう」～スクラッチjr.を使ったプログラミング学習を通して～

2年生は、国語科で取り組んだ「お話のさくしゃになろう」のできあがった物語を、プログラミングで動きのある絵にしていきました。低学年でのプログラミング学習をどのように行うか多くの先生方が不安を持っている中で、スクラッチjr.を使った授業実践は、これからの低学年の授業づくりの参考となるものでした。子どもたちの発想力や操作する能力も2年生とは思えない素晴らしいものでした。



公開授業：中学年

第4学年 総合的な学習の時間（パソコン室）：授業者 加藤 大稀 教諭
「だれもがよりよく関わり合えるように」～スクラッチを使ったプログラミング学習を通して～

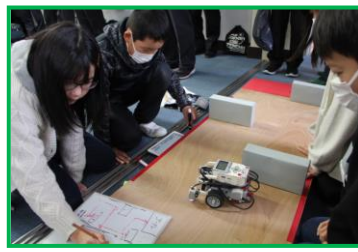
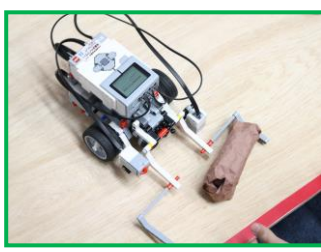
4年生では、国語や総合的な学習の時間の中で、福祉について学習してきました。今回の授業では、自分たちが調べたバリアフリー施設を、アイコンをタップすると画像や説明文が出てくる「ポップアップマップ」を、スクラッチを使い作成しました。スクラッチはプログラミング学習で一番活用されているソフトです。教科や総合の学習の中でどのように活用していくかという意味で、参観していただいた先生方にとっても参考になる授業実践でした。



公開授業：高学年

第5学年 総合的な学習の時間（多目的室）：授業者 清水 仁 教諭
「出動！ドラゴンレスキュー隊」～EV3を使ったプログラミング学習を通して～

災害が起きたことを想定し、「災害救助のために昼夜問わず働き続けるロボットを開発して二次災害を防ごう」という課題を解決するために、災害救助車（EV3）を使い、土砂を撤去するグループと障害物を避けて災害救助の場所へ到着するグループに分かれて、フローチャートを使いながら、協力してプログラミングをしました。事前学習では消防士さんの話を聞き、なぜ、この学習を行うのかの理解を図りました。プログラムをすることが目的でなく、どうしたら災害の救助ができるかという場の設定に、多くの先生方からとても参考になるすばらしい授業実践であるという評価をいただきました。



研究会の様子

